

寄付・寄贈

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。
(令和5年6月16日~令和5年10月15日)

株式会社フレームエイジ様 土橋建築設計事務所様 鈴木敏雄様 株式会社大森工務店様 松ちゃん給食様
他匿名希望者 4名(順不同)

寄付金(令和5年度)累計額 374,560円



特定非営利活動法人 だんでらいおん
たんぼぼ通信
No.39
障がいの重度化・高齢化、親の高齢化に対応できる
共生型の施設作り及び地域社会を目指して

発行元: 特定非営利活動法人 だんでらいおん
発行責任者: 久保 哲哉
〒546-0023
大阪市東住吉区矢田5-9-8
TEL: 06-7668-1101
発行日: 令和5年12月8日

関西サイクルスポーツセンター

生活介護事業所 班長 吉竹

8月21日(月)全体レクリエーションで関西サイクルスポーツセンターへ行きました。

利用者様には事前に「プール」か「アトラクション」を選択していただき、当日は天気にも恵まれ、プールや様々な自転車乗り物を楽しませていました。

大人数でのお出掛けの為、マイクロバスと公用車8台で行きました。当初は、関西サイクルスポーツセンターで昼食予定でしたが、予約がとれず急遽、餃子の王将で昼食となりました。急な変更で利用者様、家族様にはご迷惑をおかけしましたが、王将での昼食も満足していただけている様子でした。



現地に到着後は気温が高かったため、プールを選ばれた方は、すぐにプールに入り、楽しまれていました。アトラクションを選ばれた方は、汗をかきながらも変わり種自転車やサイクルコースターなど色々な乗り物を楽しませていました。一通り遊び終えてからは、ジュースやソフトクリームを召し上がっていただけただけでも良かったと思います。

プールに関しては数年ぶりの行事でしたが、事故・怪我もなく終わり皆様夏の楽しい1日を過ごせることができました。



新たに公用車を導入致しました

令和5年5月に新たな送迎車両として、新型ノアを導入致しました。これで、法人所有の公用車は総台数10台となりました。乗降しやすい座席配置やブラインドスポット検知センサー等の最新の安全性能を備えており、利用者様には今まで以上に安全にそして安心してご乗車いただけるのではないかと考えております。既に送迎はもちろん日中活動でも積極的に活用しています。



編集後記

秋の気配が濃くなり涼しさを感じるこの頃ですが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今回のたんぼぼ通信では、地域の方々と合同で行った避難訓練からはじまり、各レクリエーションのご報告をさせて頂いております。コロナ禍では実施を見送ってきた屋外レクリエーションを今年度は多く実施しています。利用者様の嬉しそうな表情や笑顔がたくさん見られており、紙面から伝われば嬉しく思います。是非ご一読いただけます様よろしくお願い致します。(担当 川端・池田)

災害時の地域住民との連携、BCP策定について

住宅支援部 施設長 栗根 亮

7月25日(火)と26日(水)、28日(金)の3日に渡って、避難訓練及び消火訓練を行いました。今回は「地域住民との連携」をテーマに掲げ、住道矢田6町会会長の酒井様に避難訓練の概要をお伝えし、参加をご依頼させていただきました。

直前でのお願いにも関わらず、酒井様から役員の方々にお呼びかけいただき、当日は酒井様をはじめ、6名の方にご参加いただきました。皆様、この度はご協力、誠にありがとうございました。

近年、全国各地で大規模な災害が発生しており、改めて災害対策の重要性が感じられます。今後は地域の方と合同で避難訓練を行うことで、地域との協力体制を強化し、災害時における効率的な救助活動に繋がりたいと思います。当法人も現在、町会の地域清掃や防災訓練などに参加させていただいています。これからもそういった取り組みを継続、展開していくことで、より一層、地域の方々との協力関係を築いていきたいと考えております。

一方で、BCPの策定も重要です。BCPは事業継続計画とも呼ばれ、災害や緊急事態に備えて事業の運営を継続させるための計画です。BCP策定においても、地域の方の意見や協力を得ることで、具体的な災害時の対応策を策定していき、早期かつ円滑な復旧・運営の実現に繋がりたいと考えております。

災害時の地域住民との連携とBCP策定は、地域社会の安全と持続性を確保するために欠かせない取り組みです。より迅速かつ効果的な災害対策を立案することで、地域全体でのコミュニティの強化を図っていきます。

今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。



ハイキング



令和5年5月12日(金)に生活介護事業所こんぷおーと、15日(月)には生活介護事業所リアンで「大自然の中に身を置き、普段の生活では味わえない開放感に包まれよう」というテーマで、「大阪府民の森らくらく登山道」へハイキングに行きました。両日ともに天候に恵まれ、ハイキング日和となりました。

到着後、らくらくセンターハウス内で、お楽しみの昼食！みんなで一緒に食べるお弁当はとても美味しく感じました。

その後、ハイキングスタートです！ゴールを目指してどんどんと先へ進まれていく方や、景色を眺めながらゆっくりと進まれる方、途中休憩できる展望スポットも多くあり、そこで絶景を楽しめる方など、皆さんご自身のペースで思い思いに山登りを楽しまれていました。がんばってたくさん歩かれた後は、お楽しみのアイスクリームやジュースがあり、皆さんとても美味しく召し上がられていました。

今回のハイキングでは、五感を使って全身で自然を楽しむことができたと思います。また事故や怪我もなく、健康的で楽しい1日を過ごすことができました。

生活介護事業所 主担 西方 守



希望別レクリエーション



生活介護事業所 主担 中村 優公

コロナ禍を乗り越え、約3年ぶりに希望別レクリエーションを行う事が出来ました。時期がずれ、第一希望にしていた場所に行くことが出来ない利用者様もおられましたが、生駒山上遊園地、温泉、カラオケと3つの行き先を設定した中から、利用者様がそれぞれ選択された場所へと行っていただきました。生駒山上遊園地では、園内の楽しい雰囲気、ゴーカートやモノレールなど色々な乗り物に乗ったりと喜ばれていました。温泉では、美味しい食事と広い温泉でゆっくりと寛がれ、満足された様子が見られました。カラオケでは、皆さんマイクを握り、好きな曲を笑顔で熱唱されています。

久しぶりのお出掛けということもあり、普段の活動では見ることができない寛いだ様子や笑顔、行動を見ることができ、利用者様にとっても、職員にとっても良い経験が出来ました。

次回の希望別レクリエーションでは、「利用者様のニーズに沿った行き先の提案」「下見等の事前準備」に力を入れていき、今まで以上に利用者様に満足していただけるレクリエーションにしていきたいと思ひます。



BBQレクリエーション



生活介護事業所 主担 張 振巧



令和5年6月16日(金)、夏の行楽としてBBQレクリエーションを開催しました。4月の花見行事に続いて今年度2回目の全体行事なので、前回の経験を生かしながレクリエーションを行いました。

夏と言えば海ですよね！そして今回の会場は舞洲にある「森とりのBBQフィールド」となりました。当日は天候も良く、穏やかな海を眺めながら、利用者様が職員と一緒に肉を焼いて、美味しく召し上がられていました。

食後はスタンプカードに「だんでらいおん」のサインをもらうゲームを行いました。

BBQ会場から10分ほど歩いた海沿いの公園で、各班の利用者様が事前に作ったカードを持って職員と一緒に「すみません、サインを頂けませんか？」とお互いに質問をしてサインをもらいました。ゲーム中にはたくさんの笑い声が聞こえてきました。普段は別の班の利用者様、職員も一緒に関わりを深めながら楽しんでいただけたのではないかと思います。

食事とゲームを楽しんで、利用者様と職員の間を深める事ができ、心身ともにリフレッシュしていただけた、とても充実したレクリエーションとなりました。

